

CYS school センター南第2教室
令和4年度 事業所自己評価結果の公表

公表: 令和5年3月31日
アンケート期間: 令和4年 2月 17日～令和4年 3月 7日

保護者等からの事業所評価の集計結果

保護者等数(児童数)18名

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースは十分に確保されていますか。	9	5		4
	2 職員の配置数や専門性は適切ですか。	15	1		2
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっていますか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか。	10	2		6
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか。	12	2		4

事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

回答職員数 6名

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	4	・部屋を区切る等の工夫により、活動に合わせた環境設定を常勤の先生方が考えている。	*第2教室はCYSの他クラスと違って、個々に受け入れやお迎えが違うことにより、そこに人手が必要になったり時間に通われてしまったりすることがある。子どもたちの行動をゆくり見守っていたい面でも、少しそこに対策や改善できることがあれば、さらに良い支援が出来るのではと感じる。 ・活動の用意をし手戻スペースがもう少し広いと活動準備がしやすい。 ・教室の身支度スペースの環境整備をもう少ししっかりと行う。狭い環境でも問題なくやることをやっていたらと思う。
	2 職員の配置数は適切である	5	1	・準備などをする際にどうすれば使いやすくなるのか考え直したり、子ども一人一人に合わせた環境作りを考えたり、失敗や反省を生かしながらその都度臨機応変に考えていく柔軟さがとても良いと思う。 ・パーテーションやブラダン等を適宜利用し、視覚からの情報過多にならないよう調整している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3	・生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・周囲の刺激を整理できるよう、パーテーションなどを使い落ち着いた取り組めるようにしている。	
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		・なるべくその場で疑問点を聞くようにしている。 ・活動の目当てやどの辺りを評価すべきか事前に把握するように努めている。 ・日々の療育の振り返りや反省などをなるべく行うように話している。日々の療育の場で学ぶことがたくさんあるので、なるべく色々な先生の療育で引き出しを増やせるようにしている。	・パートの勤務時間上、振り返りする時間があり取れないことが課題であると感じている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・毎日、その日に行ったことはその日のうちにヒヤリハットや変更改善面を業務日報にあげ、共有できるようにしている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		・職員会議の時に正副長の先生から子どもたちの振り返りやアセスメントなどの話を聞き、全体で周知していると思う。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・社員総会などで年に数回職員全員が集まり研修などで全体で同じ知識を深められ、勉強できるのはとてもありがたいと思う。	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
適切な 支援 の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていますか。	18			
	6 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか。	15			3
	7 個別支援計画に沿った支援が行われていますか。	17	1		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか。	15	2		1
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がありますか。	5	1	9	3

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な 支援 の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	6			・記録の入力をできる限りやっけているが、その日の状況によっては時間が足りない。業務フローを見直し改善していきたい。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	・出勤時間が遅いため限られた時間の中ではあるが、その日の内容や支援の仕方を正社員の先生と打ち合わせている。また対応に困った時には会議や時間がある際に相談、報告をして、適切な対応が出来るように心掛けている。	
	11 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		・個人の支援計画やモニタリングなどは時間がある時にチェックするようにしている。また出勤でない日も業務日報は必ず確認している。 ・個別支援計画がHUGs上に公開されているので、適宜閲覧するようにしている。 ・記録を入力するために、注目すべき点を常に確認したり考えたりしながら支援をするようにしている。	
	12 個別支援計画に沿った支援が行われている	6		・ヒヤリハットの報告心がけている。	
	13 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・仕事前に丁寧なミーティングをしていただき、1日の流れや自分のやるべき動き、活動の目的を明確にしている。	
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・療育の前には必ず管理者に活動内容の話をし、考え等伝えようようにしている。	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	6		・子どもを中心とした療育を心がけ、声かけ、距離間、また子ども一人ひとり発達、計画書に基づいた支援ができるよう話し合いを丁寧にしている。	
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・日々の記録を次の日までに入れる工夫をしたり、記録が溜まった時はできる時に日に事務時間を作ったり正規の先生が採配して工夫している。	
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	・子どもは活動は同じ活動が繰り返ないように、また、その子のレベルに合わせて活動したり工夫していると思う。	
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	19 定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1		
	20 障害児相談支援事業所のサービスマン担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			
	22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1		
	23 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・保護者の方に状況や療育中の事をお伝えする時にはなるべく必要な時に必要な事をお伝えするようにしています。	
	24 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	・登園前の体温、体調の変化などを療育支援システムの保護者連絡より入力して送っていたい。また、同じシステムを利用し、その日の提供記録を写真と共に保護者様へお送りしている。	
	25 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		
	26 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		
	27 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	3	3		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか。	17			1
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	17			1
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	15	1	1	1
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか。	14	4		
	14 保護者同士の連携が支援されていますか。	6	3	3	6
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			1
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか。	17		1	
	17 定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果等を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17		1	
	18 個人情報の取り扱いに十分注意されていますか。	15	1	1	1

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
非常時等の対応	19 防犯対策、感染症予防、非常災害時対応方法について、保護者に周知・説明されていますか。	12	2		4
	20 新型コロナウイルス感染症対策は徹底されていましたか。また、緊急事態宣言発令時の対応について等、不安はありませんでしたか。	14			4
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	12			6

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	2		1
	23 事業所の支援に満足していますか。	17	1		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	29 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員が陣間時に保護者の方との情報交換を充分な時間をかけて行っていると感じる。 ・専用アプリHUGで保護者の方が気軽に連絡できる仕組みはとても良いと思う。 ・管理者が保護者様に対して相談を受けやすい体制になっているかと思えます。その内容を共有しやすい環境になっているかと思えます。 ・わかりやすく、また迅速に対応するようにしている。 ・お子さんのことで良いことや改善したいことあればその都度園からも発信しているのと、保護者様から質問や相談などあればその都度話をし、時間がない時は別日で予定を作れていると思えます。
	30 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	6			
	31 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	32 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	33 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4		
	34 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	35 定期的におたよりやホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	36 個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	37 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	38 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	39 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練を行っている。 ・日々ヒヤリハットを報告しいつでも見られるように日報にまとめている。 ・避難訓練やお子さんのてんかん発作等非常時に対してなるべく共有しやすい環境になっているかと思えます。 ・非常時に即座に対応できるよう、スタッフの動き、声かけ、連携、避難先への移動など訓練している。 ・緊急時対応マニュアルや虐待防止などの話は職員会議などで話していると共に、必要なものは目に見えるように壁に貼っていつでも見えて確認できるように工夫している。また、ヒヤリハットなどはその日の業務日報などで周知しています。
	40 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		
	41 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、新しい生活様式に対応した活動内容・支援方法について日々工夫しながら取り組んでいる	6			
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			

事業所における分析・協議・改善案の検討結果

事業所内での分析	
【保護者様評価・職員自己評価の共通点】	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画に基づいた支援がなされている。 ・外部との交流が不足している。 ・保護者会など機会がない。
【保護者様評価・職員自己評価の相違点】	<ul style="list-style-type: none"> ・就学や育児についての面談の周知。

分析・検討してみても…	
事業所の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの発達や計画書に基づいた支援が行われている。 ・HUGにて利用した日のフィードバックを写真付きで掲載することで、活動の様子や支援の様子が分かりやすく伝えられている。 ・季節毎のイベントもあり、療育とは違った体験ができる。 ・エレベーターがあることで、ベビーカーを利用しているお子様も通いやすい。 ・センター南教室とも近いので、行事を一緒に行ったり交流ができる。
事業所の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を配信するなどして、子どもの様子や実際の支援を見てもらえるよう工夫する。 ・保護者会や保育参観を実施し、教室での療育の様子をみられる機会を設けたり、保護者様同士が交流を持てる機会を作る。 ・相談の機会の周知の方法を考えていく。 ・災害や怪我等非常事態に備えた訓練を行っていく。

事業所の改善への取り組み	
事業所の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観の実施や動画などで、お子さんの様子や支援の方法を見てもらえる機会を設ける。
事業所の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の訓練や病氣など非常事態に備えた訓練を行い、対応力の強化につなげていく。 ・面談ができることを周知していく。